

# キャンパスライフ サークル紹介

## 体育系

### 交剣知愛

#### 剣道部

塚本 晃大

(教育学部自然科学専修理科分野四年)

私たち埼玉大学剣道部は、週五日、埼玉大学の第一武道場で活動しています。令和五年度の部員数は、二十六名です。中学・高校から続けてきた学生もいれば、数年前に剣道を再開したという学生もいます。部としての目標と個人目標を掲げ、自分たちで練習内容を考えて仲間と切磋琢磨し、稽古に励んでいます。

埼玉大学剣道部の特徴として、周辺地域や他大学との交流が盛んなことが挙げられます。一月には近隣の小中高生だけでなく、関東周辺の地域から多くの生徒・学生を受け入れ、三百人規模の寒稽古を行っています。また、全国教育系大学剣道ゼミナールでは、日本各地の学生と稽古会や剣道大会ゼミナールを開催します。学生として己の技術を向上させるだけでなく、指導者としての資質・能力を身に付けられるのも、この部活動の大きな特徴です。さらに、剣道を学びたい留学生の受け入れも行っています。剣道の技術だけでなく、礼法や日本独自の考え方を

伝えることで互いの文化の違いやそれぞれのよさに気付けます。

私たちは、関東学生剣道選手権大会並びに関東学生剣道優勝大会では全国大会出場を、関東甲信越大学体育大会(以下、関甲信)では優勝を目標としてきました。また、各個人としては昇段を目標とし、稽古に励んできました。全国大会への出場は叶いませんでした。関甲信では団体三位入賞、また昨年度は個人優勝(高橋)することができました。全国大会まであと一歩のところまで勝ちきれないという課題が明確となりました。

この悔しさを忘れずに稽古に励み、更なる上へのステージで戦えるよう稽古に励んでいます。



幹部交代式の集合写真

最後になりましたが、先生、先輩方も今後ともご指導・ご支援の程、よろしくお願いたします。

### 最高の仲間と共に

#### 体育会水泳部

平澤 晴太

(教育学部自然科学専修算数分野三年)

埼玉大学体育会水泳部は、週五日、夏季は埼玉大学のプールで、冬季は近隣のプールをお借りして活動しています。選手とマネージャー計二十二名が力を合わせ、「No Pain, no gain」をスローガンに掲げて、練習に励んでいます。

本年度の目標は、六月に開催された東部地区国公立大学選手権における、団体五位以内入賞でした。私たちは、部の運営を行う幹部の三年生を中心に時に意見をぶつけ合い、この大会に向けて毎朝六時半から行われる朝練に全力で取り組む準備をしました。迎えた試合当日、二十二名の部員全員が持てる力を全て出し切り、団体四位の好成績を残し、部の目標を達成することができました。信頼する仲間と互いに高め合い成し遂げるこ

とができ格別の思いでした。また、八月に新潟で開催された全国国公立大学選手権水泳競技大会には十五名、東京で開催された日本学生選手権水泳競技大会には一名が出場しました。全国の舞台で輝かしい結果を残すことはできませんでしたが、貴重な経験をすることができました。今夏、集大成の神奈川にて開催された関東甲信越大学体育大会では、男子総合三位の好成績を収めました。

埼玉大学水泳部には水泳に本気で向き合う最高の仲間がいます。学生中心に部を運営することの難しさもありますが、部員一人一人が自分の与えられた役割を確実に果たし、チームに貢献しています。水泳でスタート台に立つのは一人です。しかしそこには、今までの部員全員の思いや努力が詰まっています。一人では得られない、チームだからこそ得られるものがたくさんあります。

今年度の反省を生かし、来年度は更なる飛躍を目指します。水泳部はこれから最も高い仲間と活動できる時間を大切に、自己ベストの更新とチーム目標の達成に向け、切磋琢磨していきま



全国国公立大学選手権水泳競技大会の集合写真

# キャンパスライフ サークル紹介

## 文化系

伝統を受け継ぐ

### 書道部

荒開 響

(教育学部芸術専修美術分野二年)

こんにちは。埼玉大学書道部です。四年生三名、三年生一名、二年生二名、一年生七名の計十三名で構成されており、現在は一・二年生を中心に月・水・金の週三回を目安に活動しています。

私たち書道部は、全員が足並みをそろえて同じことをやるというスタイルではなく、自分のやりたい書体をそれぞれのペースで自由に探究していく形でを行っています。ここ数年は部員数が減り、活動もペースが落ちていましたが、本年度から活気を取り戻してきました。OBの先輩方が活動の様子を見に来て指導してくださるお陰で、コロナ禍の活動縮小を経た現在でも、書道部の伝統を受け継いで活動を続けることができます。

書道部の主な活動としては、年二回の大学内書道展、公募展への出展、むつめ祭での書道体験指導と書道展、他団体から依頼を受けた看板の作成、中学生への書き初め指導、夏合宿などを行っています。夏合宿はコロナ禍明け初めての開催でしたが、五体臨書や大字

作品の制作など、いつもの練習ではできないような作品を制作することができ、非常に実りのある有意義な活動となりました。また、親睦会も含めていたため部員同士の

の仲も深まり、その後の活動の雰囲気も築くよい機会となりました。本年度は積極的に公募展に応募し、優秀な成績を残せるように部員同士で切磋琢磨しながら努めました。

書道展は部員それぞれが高めてきた書の腕を披露できる場なので、できるだけ多くの人に見ていただきたいです。これからも定期的な開催していく予定ですので、お時間のある方は是非足をお運びください。



部員がむつめ祭スローガンを書く様子

音楽で繋がる

### 管弦楽団

発出 千晴

(教育学部心理・教育実践学専修三年)

こんにちは。埼玉大学管弦楽団(通称・埼玉大オケ)です。はじめに、管弦楽って何?と思う方も多いのではないのでしょうか。管弦楽とは別名オーケストラとも呼ばれ、ヴァイオリンなどの弦楽器があるのが特徴です。

私たちは、主に春と冬の定期演奏会を大きな目標として日々活動しています。一〇二三年は、数年ぶりの開催となった春夏の合宿やパーベキューに加え、埼玉大学の学園祭である「むつめ祭」にも参加するなど、活動の幅が大きく広がった二年となりました。また、公共施設からの依頼演奏の機会も増え、地域に根差した活動もできました。

特に、定期演奏会に向けては、よりよい演奏を目指して指揮者と奏者が一丸となって練習に取り組みます。クラシックには何百年も前の作曲家が残した数多くの名曲がありますが、一人一人の音が美しいハーモニーを生み出すときの楽しさや、一つの曲になったときの感動、それらを観客の皆様と共有できることの喜びは合奏ならではのものだと思います。埼玉大オケの魅力は、なんと

でも団員同士の繋がりが強いところ。当団には、経験者のほか、吹奏楽部出身者や大学から楽器を始めた初心者、他大学の学生など、様々なバックグラウンドを持った団員が在籍しておりますが、先輩後輩の垣根を越えて和気あいあいと活動しています。その繋がりは卒業後も続き、演奏会のエキストラとしてOB・OGと一緒に演奏してくださるだけでなく、OB・OG主催のオーケストラ団体も多数存在しています。

最後になりますが、日頃より私たちの活動を支えてくださっている全ての皆様に感謝申し上げます。これからも皆様にも素敵な演奏をお届けするとともに、音楽を通じてクラシックの魅力をお伝えできるよう、団員一同励んでまいります。今後とも埼玉大学管弦楽団をよろしくお願いたします。



第103回定期演奏会